

えほんとほいく山



全員！ポストカードプレゼント！

左の二次元コードからアンケートにお答えいただく
とポストカード2枚セットをプレゼントいたします！
(応募締め切り 2022年12月31日)

総合保育絵本の
活用のヒントを
動画で紹介！

チャイルドブックをもっと楽しむ

読み方・使い方

POINT

ぜひ、
こちらから
動画をご覧
ください。





わくわく しょうがっこう
(1～10ページ)

しょうがっこうって どんなん ところ？



● 就学時健診などもある時期。小学校はどんなんところが緊張や期待でいっぱいだと思います。この特集を見て小学校について知り、みんなて話題にすることで不安が消えるとよいですね。

しょうがっこうへ つながる せいかつ
(16～18ページ)

よい しせいって かっていい！

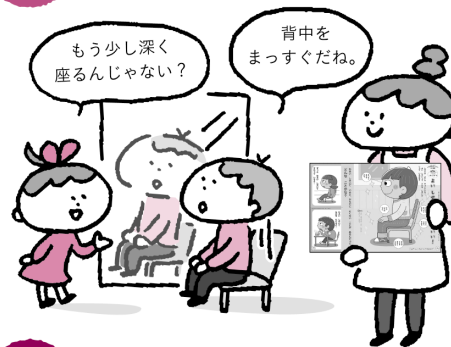
読む
まえに

絵本で姿勢に対する意識を高めましょう。

椅子に座ってお絵描きなどをしている様子を見ていると、姿勢のよくない子どもがいることに気がつくことがあります。一人ひとりに姿勢を注意してもなかなかよい姿勢を意識しにくいと思いますが、絵本を通して改めてよい姿勢を意識し、小学校生活につなげられるようにしたいですね。

読む
ときに

自分の姿勢を実感できるような工夫をしましょう。



鏡を使って、椅子に座っている様子を確かめるようにしてみましょう。実際に今どんな姿勢をしているかを見て、「よい姿勢ってこんな感じかな」とやってみることで、姿勢を意識することができるでしょう。友達と確認し合ってもよいですね。

読んだ
あとに

園生活でもよい姿勢を意識できるようにしましょう。



16～18ページをコピーして貼っておいたり、時々、「よい姿勢ができていかな？」と声かけをしたりして意識が続くようにしましょう。机や椅子を並べて、学校ごっこで遊ぶなかでしっかり座ることを意識したり、よい姿勢で字を書いたりしてもよいですね。楽しみながら興味をもてるとよいでしょう。クラス便りに、生活習慣で身につけてほしいことのひとつとして正しい姿勢を載せ、家庭と連携するようにしてもよいでしょう。

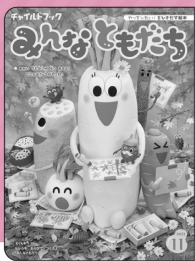


チャイルド本社のホームページに「かみがえる」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。



チャイルドブック

みんなともだち

指導 / 柴宮佑介
(Kids Island うちがしま)

とくしゅう (2~11 ページ) **ちからを あわせて つくるよ! 「みんなともだち」**

読む前に問いかけて、興味をもたせましょう。

みんながいつも読んでいる絵本は、どんな人が作っていると思う?

誰だろう?

絵を描く人!

たくさんの方がいろいろなお仕事をして、絵本ができていくんだね。

絵本がたくさん並んでる!

パソコンを使ってるよ!

読んだあと、園の職員さんたちにインタビューしてもよいですね。

園で働いている人にお仕事について聞いてみよう!

紙のマイク

誰がいいかな?

給食の先生に聞こう!

どうして給食の先生になったの?

どうしたら給食の先生になれるの?

他にもどんな仕事があるか聞いてみましょう。

他にはどんなお仕事があるかな?

おまわりさん!

ケーキ屋さん!

大きくなったらどんなお仕事をしたい?

おまわりさんになって悪い人を捕まえる!

ケーキ屋さんになっておいしいケーキを作りたいな。

給食調理員さんや園バスの運転手さんなどの園の職員の方たちが仕事をしているという認識がない子どもも多いことでしょう。その方たちにインタビューに協力してもらえると、新鮮な驚きがあると思います。

たべたいな! しりたいな! 食育
(14~17 ページ)

なんの やさいかな?

読む
まえに

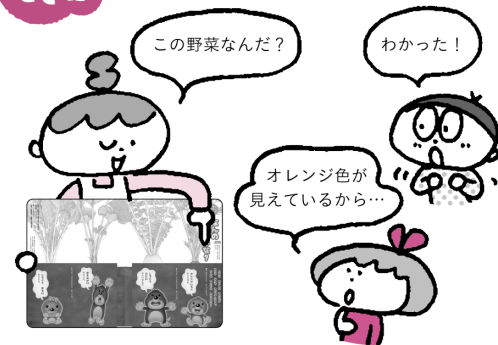
表紙を使い、根菜に関心を向けましょう。



「見て見て! 野菜たちが絵を描いているよ。どんな野菜がいるかな?」などと表紙を見せて、子どもたちの関心を向けましょう。「だいこんを抜いたことはある?」「かぶを食べたことある?」などと、それぞれの野菜についてエピソードを引き出す問いかけをしてもよいですね。

読む
ときに

クイズで盛り上がりましょう。



「この野菜はなーんだ?」と声をかけながらクイズを楽しみましょう。野菜の名前が出てこないときは「表紙に出てきた野菜だよ」と声をかけたり、「カレーに入っているよ」や「昨日の給食に入っていたよ」などと具体的なヒントを出したりしてもよいでしょう。

読んだ
あとに

根菜や季節の野菜を確認してみましょう。



根菜類は秋から冬にかけてが旬ですね。「土の中で育つ野菜は、他にもあるかな?」と問いかけてみましょう。給食で出てきた際は話題にして、体験と結びつけていけるとよいですね。



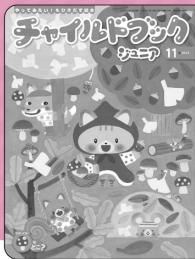
チャイルド本社のホームページに「みんなともだち」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は17ページへ



チャイルドブック ジュニア

指導 / 水野絵里
〔「はいくえほん」研究会〕

しぜん
(2～6ページ)

あきのはやしで あそぼう！



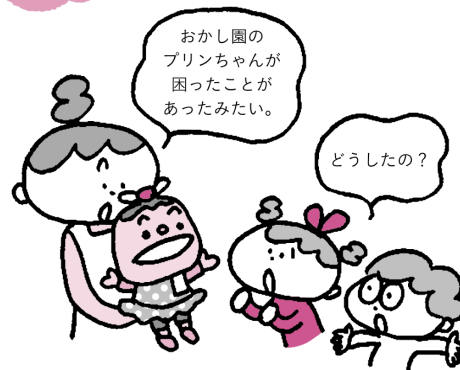
● 園庭や公園から保育室に戻るときに、落ち葉や木の実を切符に見立てて、楽しく保育者のもとに集まるようにしてみましょう。集まった切符は飾っておくと、秋の自然の美しさに関心が高まりそうですね。

せいかつ
(9～14ページ)

かしてって いわれたらね…

読む
まえに

おかし園での出来事を伝え、関心を高めましょう。



プリンちゃんの手踊り人形を使って子どもたちとやりとりをしてみましょう。

「実は、わたしのおかし園で困ったことがあったんだ。みんなも友達から言われたことがあるかな？」と、子どもたちの関心を高めてから絵本を読んでいきましょう。

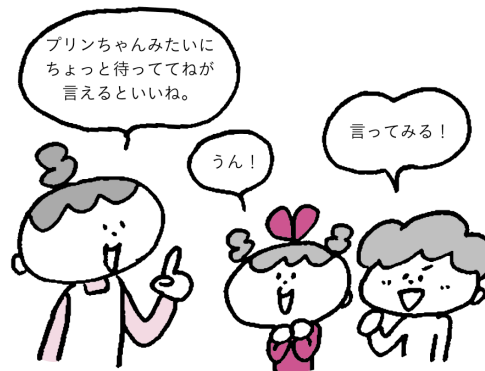
読む
ときに

キャラクターの気持ちをたっぷりと表現して読みましょう。

プリンちゃんや他のキャラクターの気持ちが子どもたちに伝わるように、間をとったり、抑揚をつけたりして読みましょう。13ページのキャンディーくんのセリフは、相手のことを思った優しい言葉です。「いっしょに見ようって、すてきな言葉だね」などと伝え、優しさを感じられるとよいですね。

読んだ
あとに

貸し借りのときに思いを伝えられるように言葉かけを。



実際の貸し借りの場面で、自分の思いを伝えられるように「『いやだ』や『いいよ』だけじゃなくて、『ちょっと待っててね』や『いっしょに見ようよ』を今度言えるといいね」と子どもたちに話しましょう。貸し借りが上手にできたときは、たくさんほめてあげましょう。

▶ チャイルド本社のホームページに「ジュニア」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社 検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

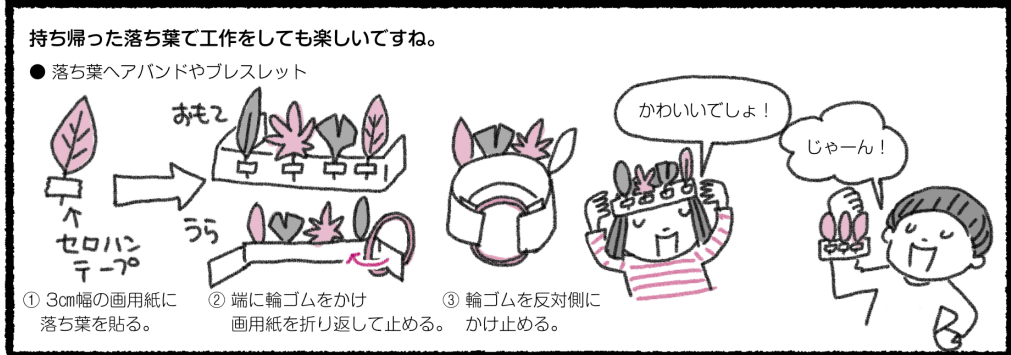
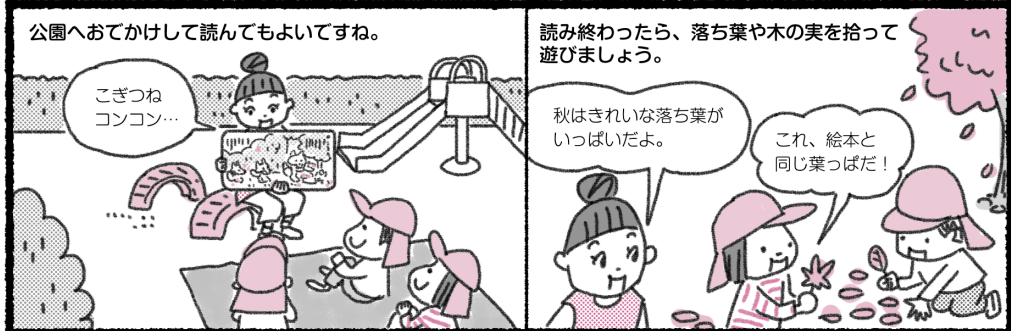
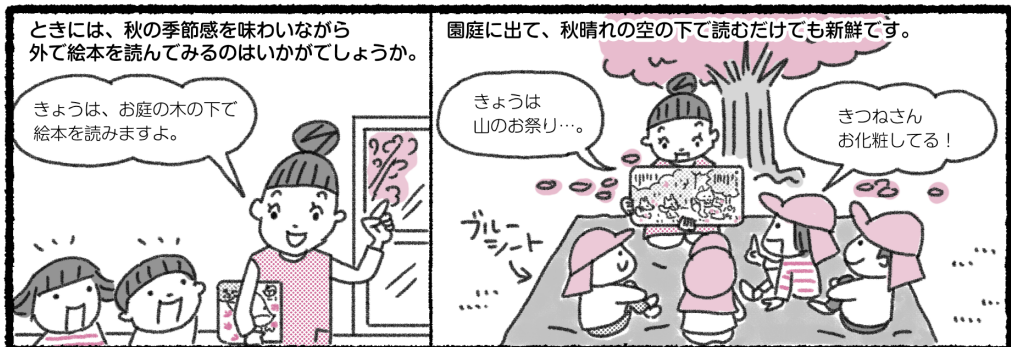
指導計画の週案・日案文例は18ページへ



指導 / 瀬川未佳
〔「はいくえほん」研究会〕

うたの えほん
(2～5 ページ)

こぎつね



● ヘアバンド、プレスレットの工作は、本誌27ページに保護者向けコーナーでも紹介しています。クラス便りなどでそのことに触れてもよいですね。

かんきょう
(6～9 ページ)

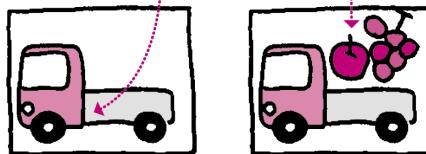
なんのくるまかな？

読んだ
あとに

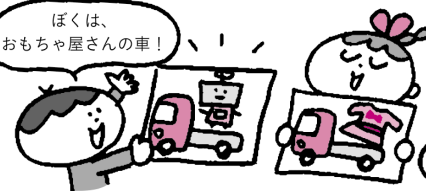
移動販売車で売りたい物の絵を描いて遊みましょう。

あらかじめ保育者が移動販売車の車体を描いておきます。

子どもたちはここに売りたい物を描きます。



ぼくは、おもちゃ屋さんの車！



わたしは、洋服屋さんの車がいいな！

8～9ページにはパン屋さんだけではなく、クレープ屋さんなど、楽しいお店が出てきます。自分だったら、どんな物をお店の車があったらうれしいかを絵に描いてもらいましょう。

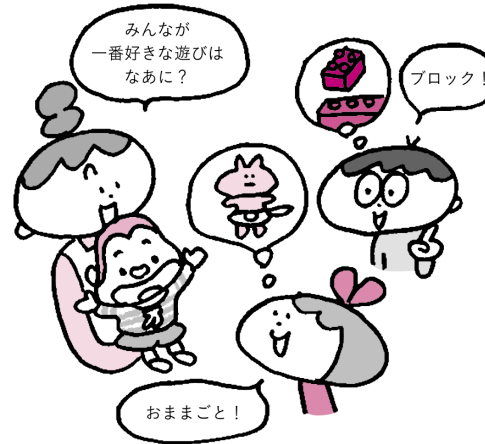
「みんなは、どんなお店の車があったらうれしい？」「どんな物を車で売ってみたい？」と声をかけます。いろいろな声を受け止めたあと、「じゃあ、みんなも、お店になる車を描いてみよう！」と移動販売車の車体の絵だけ描いてある紙を渡しましょう。

おはなし
(12～21 ページ)

ぼく、いちばん！

読んだ
あとに

一番好きな物を聞いてみましょう。



読み終わったら「おもしろかったね!」と言いながら、手踊り人形のごりくんを登場させます。「きょう、ぼくが一番のこと、なにかあったかな...あ、今日、ぼく一番最初に起きた!」と思いついたようにごりくに言わせて。「みんなも、なにかが一番になったことあるかな?」と声をかけ、一番について話をしましょう。「じゃあ今度は、みんなの一番好きな物を聞かせて。食べ物だとなにかが一番好きな?」と聞きます。その他、遊び、おもちゃなど、生活のなかの一番の物を聞き、掲示物で「みんなの一番! を聞きました」と貼り出し、クラスで共有するのも楽しいですね。

▶ チャイルドブックのホームページに「ぶう」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社 検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。



サンチャイルド ビッグサイエンス

『のってみよう! でんしゃ』

指導/瀬川未佳
(「ほいくえほん」研究会)

保育で絵本を楽しむコツ

今月号は、子どもたちに人気の電車を取り上げました。一冊を通じて、電車に乗ったような気分で、電車の動く秘密や働く人の仕事を知ることができます。読んだあとは電車ごっこをして楽しみましょう。

園庭に線路を描こう!

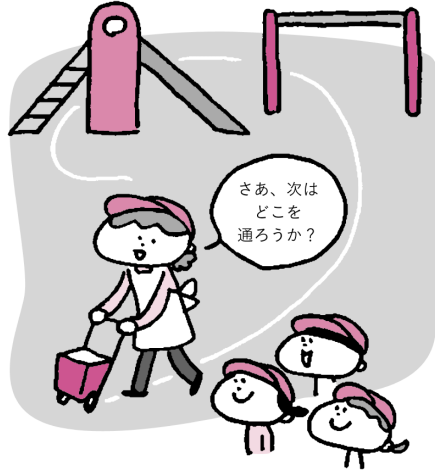
「これからみんなで園庭に電車を走らせるよ。電車が走るために必要なものは、なにかな?」と子どもたちに問いかけましょう。「線路!」と声が上がったら、「じゃあ、これからみんなで線路を描きましょう。」と園庭に出ます。

「駅はどこにしようか?」「どこを通ろうか?」と子どもたちと相談しながら、白線などで線路を引きます。(室内で行う場合にはビニールテープを貼ってもよいでしょう。) 滑り台や鉄棒の下を通ったり、踏み切り板などを使って坂道を作ったり、踏切や信号を作ったりしても楽しいですね。特に、鉄棒の下など少し危険を予想される場所の前には、信号役を設けるとよいでしょう。「ここから先はトンネルです。小さくなって通りましょう。」と声をかけて、全員が中腰になることを確認してから通すルールにすると、安全です。

電車で走ろう!

ロープや段ボールなどで、1~4人ほどが乗れる電車を作り、線路の上を走ります。年齢の高いクラスでは、駅員さん役、車掌さん役、運転士さん役などを決めて、セリフを言うことにしてもよいですね。(例えば、出発のときには、駅員役はベルを鳴らして旗を振って「乗車よし!」、車掌役は指差し確認をして「ドアを閉めまーす」、運転士役も指差し確認をして「出発進行!」など。)

この他、切符を作って売っても楽しいですね。



作者インタビュー



青山ゆういち先生

もこちゃんチャイルド11月号
『のりもの いっぱい』
作/こわせ・たまみ
絵/青山ゆういち



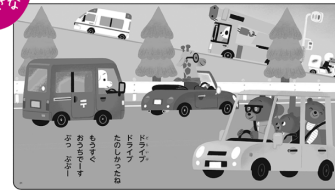
今回表現でこだわられたところ、苦労された点などはありますか?

始めから終わりまで読むと、ドライブ旅行したような気分を味わえるように、全体につながりを感じさせるような構成にすることに苦労しましたね。私自身もドライブや車が好きなので、移り変わっていく景色や目的地に到着したときの達成感など、ドライブ旅行の醍醐味を画面から感じていただけるようにするにはどうすればよいのだろうか?と悩みながら描きました。

特にお気に入りの場面はありますか?

最後の帰り道のシーンですね。ストーリーの中には出てきませんが、絵を眺めるだけでも楽しめるように画面にたくさんの種類の乗り物を描きました。友達や家族と「あっ! こんな乗り物もあったよ」「この乗り物はなにかな?」などと語り合いながら楽しんでいただけたらうれしいです。

子どもたちの大好きな はたらくくるまもいっぱい!



P20-21

子どもの頃から絵を描くことは好きでしたか?

小さな頃から絵を描くのが好きでした。ノートの端やチラシの裏など、スペースがあればどこでも落書きしてしまうような子どもでした。絵本も好きでよく読んでいましたが、特に海外の絵本に惹かれ、カラフルでポップな色使いや、デフォルメされたキャラクターに心を奪われました。その気持ちは大人になっても変わらず、いつかこういうものを書きたいと思いながら絵を描き続け、今に至ります。

創作するときに日頃から大事にされていることはありますか?

「初心忘るべからず」でしょうか。私にとっての初心とは「絵を描いているときのワクワクした気持ち」です。上手に描いた絵より、自分自身が楽しんで描いた絵の方が、読者の方に気持ちが伝わって喜んでもらえると感じています。締め切りを追われていようとも、絵を描いている瞬間はワクワクした気持ちを大事に絵を描こうと思っています。

今後挑戦してみたい絵本のテーマなどはありますか?

しかけや謎解きのある絵本に挑戦したいと思っています。子どものほうがひらめきや発見に優れているときが多々あります。大人はウーンと悩んでしまうけれど子どもはすんなり解けてしまうといったことも。ページをめくるたびに驚きや発見があるような、そんな絵本を作れたらなあと思っています。

保育現場の先生方へメッセージをお願いします。

主人公のくまの親子以外にもたくさんの動物たちが登場します。一度ならず二度、三度と読み返すと新しい発見があるかもしれません。「ペンギンさんはどこにいるかな?」などと、お子さんたちと会話しながら読んでいただけたらうれしいです。

青山ゆういち (あおやま・ゆういち)

岐阜県出身、千葉県在住。イラストレーター。絵本、児童書などを中心に幅広く活動。主な作品に『みんなまってるよ!』(少年写真新聞社)、『ひみつのとっくん おしごとのおはなし 消防士』(講談社)、『だれのうち』(東京書店)などがある。

読み聞かせ ワンポイント アドバイス



徳永 満理
(とくなが・まり)

福岡県出身。子どもの発達をふまえていねいな保育のなかで50年読み聞かせの実践を重ねる。社会福祉法人おさなご保育園園長を経て、現在は同園の理事長。元兵庫大学短期大学部専任講師、あかし保育絵本士養成講座講師、兵庫子どもと絵本の会顧問。著書に『絵本と子どもが出会ったら』（鈴木出版）、『絵本でひろがる子どものえがお』（高山智津子氏と共著）『よくわかる0～5歳児の絵本読み聞かせ』（以上、チャイルド本社）、『赤ちゃんにどんな絵本を読もうかな』（かもがわ出版）、絵本に『はるちゃんのぼんぼりぼうし』（ひさかたチャイルド）、『ゆうちゃん』シリーズ9冊（アリス館）などがある。



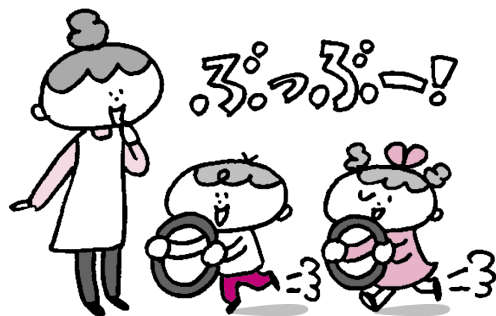
のりもの いっぱい

作／こわせ・たまみ
絵／青山ゆういち

表紙いっぱい描かれた乗用車が子どもたちの興味を誘います。『のりもの いっぱい』というタイトルもうれしいです。「どんな乗り物が出てくるのかな？」と問いかけて、子どもたちの期待感を盛り上げてから読み始めましょう。

くまさん家族がドライブに出かけます。運転手はお父さんで、ぼくとお母さんもちゃんと乗っていることを子どもたちと確かめてからページをめくりましょう。途中の道ではいろいろな乗り物とすれ違います。それぞれの乗り物の擬音語に臨場感を込めてリアルさを強調し、ドライブ気分を楽しめるように演出しましょう。1台ずつ乗り物の名前をみながら確認しながら読むと楽しいですね。

読み終わったら、もう一度最初のページから順



番に乗り物の絵をゆっくり見せて楽しませてあげましょう。そのあとは、自分の好きな乗り物を選んで乗り物ごっこをしてみてください。



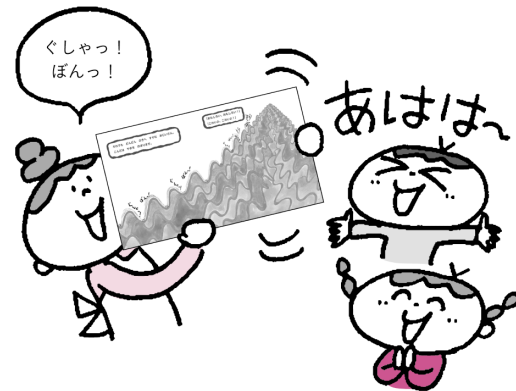
おじいさんと でこぼこ

作・絵／赤川明

タイトルからおもしろそうです。自転車を走らせているおじいさんが、なんとなくさっそうとしているように見えます。「どんなでこぼこが待っているのかな？」と、ワクワク感を込めて絵本に誘いましょう。

まず、最初のページの看板の文字ををしっかり読みましょう。うさぎ、かえる、ねずみから、でこぼこはらっぱに誘われたおじいさんの大冒険の始まりです。はらっぱのでこぼこぶりが、読み進むごとに激しくなります。メリハリをつけて、段々激しくなる様子に変化をつけて読みましょう。さらに、変化に合わせて絵本を上下左右に動かして演出しましょう。

読み終わったら、もう一度最初から1ページず



つおじいさんとかえるたちの様子を見せてあげると、おもしろさがさらに増すでしょう。

🍎チャイルドブックアップル

コロンかいぞくだん おかしのしまへいく

作／かろくこうぼう

タイトルを読むと、子どもたちの中から「海賊団って、なに？」と質問が出るかもしれません。そのときは、巻末の「コロンかいぞくだん」の歌をうたってあげましょう。それに合わせて、裏表紙にあるコロン海賊団のメンバーの紹介を見せ、一人ひとりの名前や特徴を確認してから読み始めましょう。

とある島に流れついたコロン海賊団が甘い匂いに気づきます。遭難とは裏腹のおいしそうなお菓子の島での探検の始まりです。子どもたちからも「食べたーい」の声も飛んできそうです。クッキーの男の子、ジンジャーの登場で、お菓子の家づくりから船づくりの展開となります。立体感のある画面を一場面ずつをゆっくり見せて、子ども



たちを想像の世界に引き込んでいきましょう。読み終わったら、「コロンかいぞくだん」の歌をみんなでうたい、それぞれ好きな海賊団のメンバーになりきって遊んでみましょう。



おはなしチャイルドブックエストシリーズ

ヒッコリーのきのみ

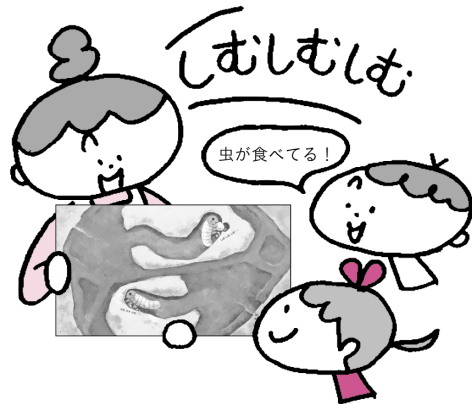
作/香山美子 絵/柿本幸造

「ヒッコリーってなに？」と子どもたちは、タイトルの「ヒッコリー」の言葉に興味をもつでしょう。そのときは、「くるみの実のこと」などと説明をしてあげましょう。表紙の絵から、子どもたちとお話の流れの想像を膨らませ、おしゃべりを楽しんでから読み始めましょう。

りすのバビーが森で大小さまざまなヒッコリーの木の实を拾う前半では、バビーが拾った実が、大きいけれど軽かったことに興味をもつことでしょう。その理由がわかる10ページは、バビーといっしょに発見のおもしろさを共有できるように、ゆっくり見せてあげましょう。後半の、お母さんといっしょにヒッコリーを食べて冬ごりの支度をするくだりは、絵のあたたかさをたっぷり味わ

わせてあげましょう。

読み終わったら、残ったヒッコリーの実からの芽吹きについておしゃべりしましょう。



チャイルドブックアップル 傑作選

とっくんトラック もりへぶぶー

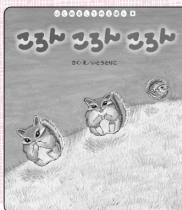
作・絵/いむむらかずお

主人公の男子「とっくん」が、おもちゃのトラックを引いてどこかに向かっている絵を、ゆっくり見せてタイトルを読んでから、「とっくんは、森になにしに行くのかな？」と問いかけてみましょう。子どもたちは想像を膨らませている回答えてくれるでしょう。

本文は、一場面ごとにとっくんがいろいろな木の实を拾う動きが絵で描かれています。言葉は短くて端的です。絵をゆっくり見せながら、文は一言一言に区切りをつけてリズムカルに読んであげましょう。後半は、森でお店屋さんになったとっくんとお客さんの動物たちの楽しい交流の展開です。弾んで読んであげましょう。

読み終わったら、お店屋さんになったり、お客

さんになったりしてお店屋さんごっこをして遊んでみてもよいですね。



はじめましてのえほん

ころんころんころん

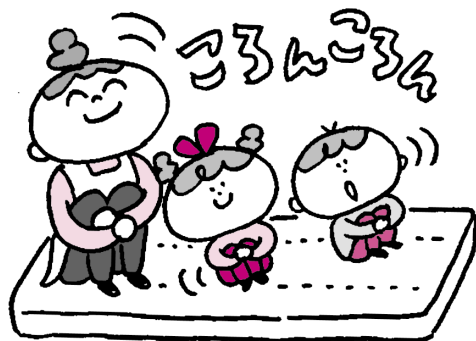
作・絵/いとうとりこ

表紙は、ふんわりふわふわの草に包まれた坂を、体を丸めて転がるりすたちの絵が楽しさを誘います。タイトルの「ころんころんころん」の言葉に合わせて絵本を動かしながら見せてあげましょう。

丘のつぺんでは、くまが木の陰に隠れて寝ています。「くまさん！」と気づき、指さす子もいるかもしれません。うなずいたりして共感してあげましょう。初めは木から落ちたどんぐりが転がってきます。そのあとからりすが、最後はくまが転がってきて…。どんぐりとりすの「ころんころん」は小さく軽やかに、くまの「ごろんごろん」はダイナミックにそれぞれ絵本を動かして楽しく演出して見せてあげましょう。

読み終わったら、どんぐりになったり、りすに

なったり、くまになったりして転がって遊んでみてもよいですね。



世界の昔話名作選

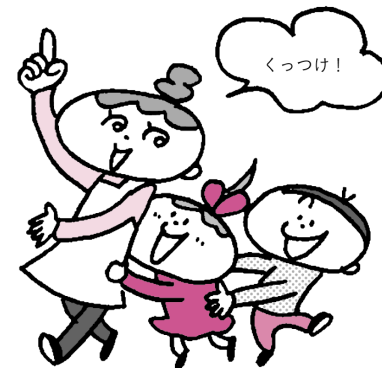
ふしぎながちょう

文/西本鶏介
絵/柿本幸造

表紙のがちょうを抱いた男子の後ろには、見慣れない衣服を着ている人々がつながっています。タイトルも不思議な感じを誘います。「昔話?」「どこの国の話?」など、想像のおしゃべりを楽しませてあげましょう。

表紙をめくるとお城の絵が描いてあります。「あっ、外国のお城だ」と期待感が募るでしょう。ゆっくり見せてから読み始めましょう。貧乏なくつ屋の息子が、何をしても笑わない女王様を笑わせて婿になるというお話ですが、おばあさん(実美しい娘)からもらったがちょうの登場で、表紙の絵の不思議が解決しそうです。期待が高まるようにメリハリをつけ、少しおどけた雰囲気を読んであげましょう。

読み終わったら、息子の優しさなど思ったことを話し合い、そのあとは、みんなでくっついて遊んでみても楽しいですね。





チャイルドブックを活用するときの週案・日案文例



チャイルドブック

かんがえる

文例執筆 / 山本秀子 (東京家政大学准教授)

- 週案例**
- ・保育絵本を活用し、小学校への期待感を高める。
 - ・保育絵本を活用し、交通安全の意識を身につける。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
特集 健人環言 ①②⑤⑥⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の教室や授業の内容などについて知り、就学への期待を高める。 ● 園と小学校の違いばかりではなく、現在の生活と同じところも探すことで、小1プロブレムにならないような援助と配慮を心がける。
身の回りの なぜなぜ 健人環言 ①②④⑤⑥ ⑦⑧⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路にある印に気づくことをきっかけに交通安全への意識を高め、道を歩くときの注意点についても確認する。 ● 園外保育などで実際の印を見ながら交通ルールについて確認し、「自分の命を自分で守る！」ことの大切さを伝える。
小学校へつながる 生活 健環言表 ①②⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● よい姿勢をカッコいいと感じるとともに、悪い姿勢が体に及ぼす悪影響について知ることで、姿勢をよくすることへの意識を高める。 ● 普段の園生活からよい姿勢を実践することで習慣化し、小学校への不安感を減らすことにつなげる。
数・シール 環言表 ②⑥⑧⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 動物たちの言う通りの色と模様のランドセルを選ぶことで、複数の条件に当てはまる物を探す「積集合」の考え方に触れる。 ● 保育のなかでも、2つの条件を分けて考えていくことで選択肢が絞れ、目的が達成しやすくなるような体験ができる環境を意識して用意する。
お話 言葉遊び 人環言表 ⑥⑧⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● お話を通して、平仮名には似た形の文字があることに気づき、文字を読んだり書いたりすることへの興味を深める。 ● どの文字が間違っているかを話し合うことで、正しい文字を使わないと正しく伝わらないことを知るとともに、文字の習得途中の子どものプレッシャーにならないように配慮する。

5領域

健康 人間関係
環境 言葉 表現

10の姿

① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
 ⑦ 自然との関わり・生命尊重

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック

みんなともだち

- 週案例**
- ・保育絵本を活用し、ものづくりへの興味を引き出す。
 - ・保育絵本の生活やお話コーナーを通して、友達の気持ちに気づく。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
特集 人環言表 ②⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育絵本をどんな人たちがどのように作っているのかを知ること、さまざまな職業への関心を高め、ものづくりへの興味を引き出す。 ● 子どもたち一人ひとりが「じぶんだけのえほん」を考え製作する活動につなげることで、その過程や完成した達成感を感じ、本を大切にすることを育てる。
シール 人環言表 ②⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな職業のシールを街に貼りながら、それぞれがどんな仕事をしているのか想像を広げて楽しむ。 ● 自分が憧れる職業について本で調べ、それを元に絵を描いたり、なりきり遊びをしたりして、体験を深める。
食育 健環言 ①⑥⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段見る機会の少ない根菜類の葉を精密画で観察し、野菜への興味を深める。 ● 根菜を育てたり収穫に参加したりして、根菜の育つ様子を実際に観察する。
生活 人言 ②③④⑥⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 嫌なことを言われたときに、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりすることで、お互いを理解するきっかけにする。 ● さまざまな言葉に対する言った側と言われた側の気持ちを、そのつど確認し、みんなで共有を重ねる。
お話 人環言表 ③⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 友達同士が同じ思いをもっていた、という物語を読むことで、友達と共感するうれしさを感じる。 ● 自分なら大切な友達になにを用意したいかを考え、絵や製作、言葉などで表現し、そのときのお互いの気持ちを感じる。

④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
 ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック ジュニア

文例執筆 / 山本秀子（東京家政大学准教授）

日案例

- 週案例**
- ・保育絵本を活用し、落ち葉など秋の自然に触れる。
 - ・保育絵本を読み、友達に気持ちを伝える大切さを知る。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
自然 人環言表 ⑥⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 園庭や公園で秋の自然に触れ、自然物を取り入れた製作や遊びを楽しむきっかけにする。 ● どんぐりや落ち葉を見て、疑問に感じたことを調べ、理解できた喜びと、さらなる疑問解決への意欲を育む。
シール 環言表 ⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● どんぐりや落ち葉に興味をもち、秋の自然を感じながらシール遊びを楽しむ。 ● 滑って遊ぶ感覚に共感できるよう、戸外に出て、すべり台やそり遊びなどで五感を使って楽しむ。
生活 人言表 ②③⑤⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 物の貸し借りをする際、自分の思いを伝え合うことでお互いの気持ちを理解する。 ● 「貸して」と言われたときの自分の気持ちにはどのようなものがあるかを話し合い、我慢するだけでなく、時には気持ちを伝えることも大切であると保育者が補足する。
お話 言表 ⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● カードを当てると絵が変わることに驚きながらお話を楽しむ。 ● カードを当てる前に、絵にどのような変化が起きるか子どもに予想してもらい、その理由を大切に受け止める。
食育 健人環言表 ①⑥⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● まぐろがどのような魚か知ること、いろいろな魚への興味・関心を育む。 ● まぐろ料理を食べた経験や、食べたい料理をクラスで発表し合う。聞き手は友達の見解に興味をもち、理解する習慣を身につける。



日案例

- 週案例**
- ・保育絵本を活用して、身近な働く車に興味をもつ。
 - ・保育絵本を活用して、うがいを楽しくできるようにする。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
歌 人環言表 ⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● うたったり、絵探しをしたりしながら、山の紅葉の様子に気づき、秋の季節感を味わう。 ● クラスの友達や保育者といっしょに歌をうたいながら、リズムに合わせて体を動かす楽しさを体感する。 ● 自分がイメージしたきつねになりきる遊びを楽しむ。
環境 環言表 ⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車がお店になる驚きを感じ、乗り物への興味を引き出す。 ● 自分が買いに行きたい車や出店したい車を出し合い、お店屋さんごっこにつなげる。
シール 人環言表 ⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● どんな仕事をする車なのか想像を広げながらシールを貼る。 ● 見たことのある車をシールの中から見つけ、保育者の援助も借りながら「どこで、いつ見て、どのように思ったか」を言葉で表現する。
お話 人環言 ①②③④⑤ ⑥⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1番になりたい」気持ちを大切にしながら、どんな「1番」もすてきであると感じる。 ● 保育のなかで、その時々に応じたその子なりの1番を体験できる場を保育者は見逃さない。
生活 健人環言 ①②⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● ページをばたばた動かして遊ぶことで、うがいに興味をもち、自分もやってみようという意欲につなげる。 ● うがいが必要な意味を保育者がわかりやすく伝え、その目的が達成できたかを楽しみながら実践できるように声かけするなど、環境に配慮する。

5領域

健 健康
環 環境
人 人間関係
言 言葉
表 表現

10の姿

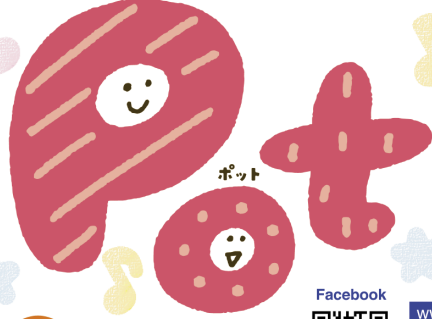
① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
⑦ 自然との関わり・生命尊重

④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現

2022

11月号のお知らせ

チャイルドブックの月刊保育雑誌



読みやすさ
わかりやすさ
No.1

毎日の保育を
もっと Happy に！

Facebook

www.facebook.com/pot.childbook/
www.twitter.com/Pot_hennyubu

Twitter



Pot 公式 Facebook Twitter をチェック!



大特集&プチ特集のW特集で保育力アップ!

26×21cm 92ページ
定価1,100円(本体1,000円+税10%)

大特集 保育で育む
非認知的能力

とじこみBOOK
「Pot 指導計画」
(12月の計画のヒント)



ワンテーママ
たっぷり!
じっくり!

サクッと
読めて
お役立ち!



行事特集

プチ特集
たまったストレス
解消法



保育室飾りや0・1・2歳児、遊びプランなど内容充実!

お仕事なりきり
ごっこ



いっしょに読むの、
うれしいの。

